

【平成28年度 第1回特別公開展】

一乗谷 よみがえる 戦国城下町 の風景



4月29日祝 / 7月19日火

休館日 / 5月18日水・6月15日水

開館時間 / 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

観覧料 / 一般100円（団体80円）

高校生以下、70歳以上（無料）

復原町並とのお得な共通券（230円）もあります。

関連行事

展示解説 / 5月1日 午後2時～午後2時30分

講座 / 6月19日 午後2時～午後3時30分

朝倉館の建築

講師 / 熊谷透（当館文化財調査員）



福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館

〒910-2152 福井市安波賀町4-10
TEL: 0776-41-2301/FAX: 0776-41-2494
E-mail: asakura@pref.fukui.lg.jp

第1回 特別公開展

一乗谷

～よみがえる戦国城下町の風景～

天正元年(1573)8月、織田信長によって戦国大名朝倉氏は滅ぼされ、焼き尽くされた城下町・一乗谷。昭和42年(1967)に始まった発掘調査により400年の眠りから覚め、当時の城下町や生活の跡が解明されつつあります。

朝倉館や寺院に町屋、道路によって整然と区画された城下町。その様子は、応仁文明の乱から復興した京都の町を描いた「洛中洛外図屏風」と共通点が多く、その屏風を初めて作らせたのが朝倉氏でした。

今回は、約50年間にわたる発掘調査および研究の成果を集大成し、「洛中洛外図屏風」をモチーフに映像表現した「一乗谷城下町図屏風」および実物資料である一乗谷朝倉氏遺跡の出土品のうち、座敷を飾ったとみられる舶来品やさまざまな職人の道具などを展示し、当時の城下町の賑わいを紹介します。

同時に、「洛中洛外図屏風」(歴博甲本:国指定重要文化財)のデジタル映像を公開し、当時の人々の風俗・芸能・建築などにいたる暮らしぶりの見どころも紹介します。

主な展示品

らくちゅうらくがい ずびょうぶ
○「洛中洛外図屏風」(歴博甲本)デジタル映像
(国立歴史民俗博物館 提供)

いちじょうだにじょう かまち ずびょうぶ
○「一乗谷城下町図屏風」映像



○粉青沙器象嵌壺
ふんせいさき ぞうがんつぼ



○青磁鉄斑文瓶
せいじてつばんもんへい



○黒釉陶器四耳壺
こくゆうとうき しじこ



○青磁瓜形掛花生
せいじうりがたかけはないけ



○青磁尊形瓶
せいじそんがたへい

関連 行事

〈展示解説〉 5月1日(日) 14:00~14:30

〈講座〉 6月19日(日) 14:00~15:30 朝倉館の建築 / 講師:熊谷 透(当館 文化財調査員)



一乗谷朝倉氏遺跡資料館
ホームページ
<http://asakura-museum.pref.fukui.lg.jp/>

「一乗谷朝倉氏遺跡散策アプリ」の紹介



<http://www.sengoku-roman.jp/>



お問い合わせ

〒910-2152 福井市安波賀町4-10
TEL: 0776-41-2301
FAX: 0776-41-2494
E-mail asakura@pref.fukui.lg.jp

福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館